

ラオス国本邦木材加工技術を活用した輸出促進に係る 普及・実証事業 有限会社高田製材所(福岡県)

ラオス国の開発ニーズ

- 製造業界の不振による雇用不足と低調な経済成長
- 低次加工の木材や品質レベルの低い加工品の廉価での出荷(違法伐採)による森林資源の減少
- 木材関連産業の近代化(木材加工品の高付加価値化)

普及・実証事業の内容

- 公的な職業訓練校における木材加工技能者の職業訓練プログラムの開発及び実施
- 技能者のレベルを判定するための認定基準・方法策定
- 職業訓練プログラムの持続的な実施運用体制の策定及び政府への提言
- 事業終了後の本事業で育成した人材を活用したビジネス展開計画案の策定

提案企業の技術・製品



付加価値を高める木材加工(S4S、集成材)技術を持続的に習得可能な人材育成プログラム

—木材加工(S4S、集成材)の製造に係る技能・技術が効率的に学べるカリキュラム、教材、指導要領、実習要領

事業概要

相手国実施機関：
産業商業省
産業・ハンディクラフト部

事業期間：
2018年4月～2020年3月

事業サイト：ビエンチャン特別市

ラオス国側に見込まれる成果

- 高付加価値木材加工品を製造できる産業人材育成への貢献。
- 森林資源の持続的活用(木材の高付加価値化)
- 木材関連産業の活性化および製造業の発展

日本企業側の成果

現状

- 世界的な森林資源の減少による原木・加工木材調達先の減少、国内市場の縮小による過当競争(販売先確保競争)の激化

今後

- 日本を含む世界市場に通用する木材加工品の販売先の拡大